

岐阜県福祉サービス第三者評価事業評価結果表

平成 31 年 4 月 1 日改正
(平成 31 年 4 月 1 日適用)

①第三者評価機関名

特定非営利活動法人 岐阜後見センター

②施設・事業所情報

名称：ひまわりの丘	種別：障害者支援施設
代表者氏名：三宅 徳 重	定員（利用人数）：施設入所 100 名 生活介護 120 名
所在地：岐阜県関市桐ヶ丘三丁目2番地	
TEL：0575-23-2510	ホームページ： http://www.gifu-fukushi.jp/himawarinooka/
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 平成29年4月1日（平成30年4月1日事務棟、令和2年6月1日なごみ棟）	
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 岐阜県福祉事業団	
職員数	常勤職員：45 名 非常勤職員 39 名
専門職員	（専門職の名称） 名
	社会福祉士 6 名 相談支援専門員 6 名
	保育士 5 名 サービス管理責任者 7 名
	社会福祉主事 5 名 ホームヘルパー2級 24 名
	介護福祉士 23 名
	管理栄養士 1 名
	看護師 5 名
施設・設備 の概要	（居室数）
	個室 104室 （内短期入所利用者用居室4室）
	（設備等）
	医務室 静養室 厨房 食堂 作業訓練室 浴室 洗濯室 会議室等

③理念・基本方針（※転載）

理念：誰もがその人らしく生きる

基本方針：福祉サービスの質の向上と、地域と共に歩む「開かれた施設」を基本とし、
ひとり一人が大切にされ、生きがいのある生活をしていただける経営をめざす。

④施設・事業所の特徴的な取組（※評価機関において記入）

- ・施設はバリアフリー対応となっており、居室は全室個室でプライベート空間が確保されている。また、入浴支援は、利用者の高齢化に伴う重度化に対応すべく、特殊浴槽（チェアー

浴)が設置されている。

- ・食事は厨房から温冷配膳車を用いて各棟に運搬しており、食堂にて、適時適温で提供している。また、利用者の身体状況に応じ、普通食、ひと口大、きざみ、ソフト食等、様々な食事形態で提供している。
- ・日中活動の一環として、機能訓練を兼ね、施設周辺のウォーキングや作業療法士による専門的リハビリテーションを実施している。また、コロナ禍の状況が改善したときを見計らい、利用者一人ひとりの要望に沿って、感染予防対策を十分行いつつ、余暇活動として近隣へのドライブ、買い物、ふるさと巡り等の外出支援を実施している。
- ・利用者主体の活動としての自治会があり、定期的開催し、意見を述べる機会となっており、催し物や行事の開催等につなげている。
- ・利用者の高齢化が進んでいるので、心身の機能維持に努め、医療連携を図るとともに、早期受診、早期治療に努めている。重度化が進行し、日常生活が困難となった場合には、家族、関係機関と連携体制を図りながら、利用者の心身機能の状況に応じた施設への移行を支援している。
- ・職員のスキルアップを目的とし、高齢者支援に特化した独自の勉強会、研修会を開催している。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和3年8月12日（契約日） ～ 令和4年3月31日（評価結果確定日）
受審回数(前回の受審時期)	1回（初回）

⑥総評

◇特に評価の高い点

<施設の建て替えに伴い、生活環境が改善された。>

新しく、棟が建て替えられたため、居室が多床室から個室となり、生活環境が改善された。窓も広く、天井が高く、明るく開放感がある。また、廊下が広く車いすの利用者と接触することなく移動ができる。感染症対策も含め防火扉を活用している。

<詳細な事業計画が策定されている。>

中・長期事業計画は、明確な中・長期ビジョンが示されており、多様化する利用者への適切な対応、安全・安心な施設管理、職員の育成等、経営全般に渡る具体的な内容になっており、持続的な安定経営を目指している。そして、中・長期計画を踏まえ、各年度単位に位置付けた詳細な事業計画を策定している。さらに、事業計画は、施設運営全般に渡る現状と課題、改善に向けた実施計画を策定している。

<利用者のニーズに応じた個別支援を行っている。>

ニーズオリエンテッドな観点から、コミュニケーションに心がけ、よりよい関係性を築けるよう心がけるとともに、利用者の希望や意向について聞き取り、利用者が希望する生活の実現を目

指して、職員間で検討し、個別支援計画を立てている。また、利用者が自分でやりたい活動等を選択できるよう具体的にわかりやすく説明している。さらに、利用者自治会の中で意見を聞く機会を持ち、園の行事や様々な活動等について利用者の意見を反映させている。また、職員は、利用者のエンパワメントを高める観点から、利用者の主体性を尊重し、一人ひとりの生活スタイルに応じた支援に努めるとともに、看護師を多数配置し、医療機関と連携しつつ、安心安全に生活していただけるよう努めている。

<地域に開かれた施設づくりに努めている。>

事業計画の中で「地域交流」について明記されており、地域との関わりの基本姿勢を示している。今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、行事の中止等、制限的にならざるを得ないが、例年は、「夏祭り」や「学園祭」の開催、大学との共催である「たのしみん祭」の開催を通じて地域交流を広げる取り組みを行っている。

◇改善を求められる点

<事業計画の利用者周知について工夫に向けた取り組みに 期待したい。>

事業計画の利用者周知について、利用者・家族がステークホルダーの重要な一員であることや、その人なりの意思決定支援のあり方が問われていることを考えれば、利用者の障害特性や一人ひとりの個性により合わせて、計画の要旨についての分かりやすい資料作成や説明方法の工夫に向けた取り組みに期待したい。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

今回の福祉サービス第三者評価の受審を通して、支援のあり方や施設経営について見直すよい機会となりました。評価では、良い点や改善すべき点などにつきましてご指摘をいただきました。今後、改善すべきと指摘された点については、継続的に改善に向けた取り組みを行うとともに、評価の良かった点についても更なる改善に努めることで、今後とも、多様化する障害福祉ニーズに対応した支援の提供に努めるとともに、福祉サービスの質の向上に取り組んでいきたいと考えています。

また、今後とも、地域に開かれた施設として、さらなる地域貢献に向けた取り組みを進めていきたいと考えています。

⑧第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。